

【既存ESETユーザー向け】
ESET PROTECT MDR
環境構築ガイド

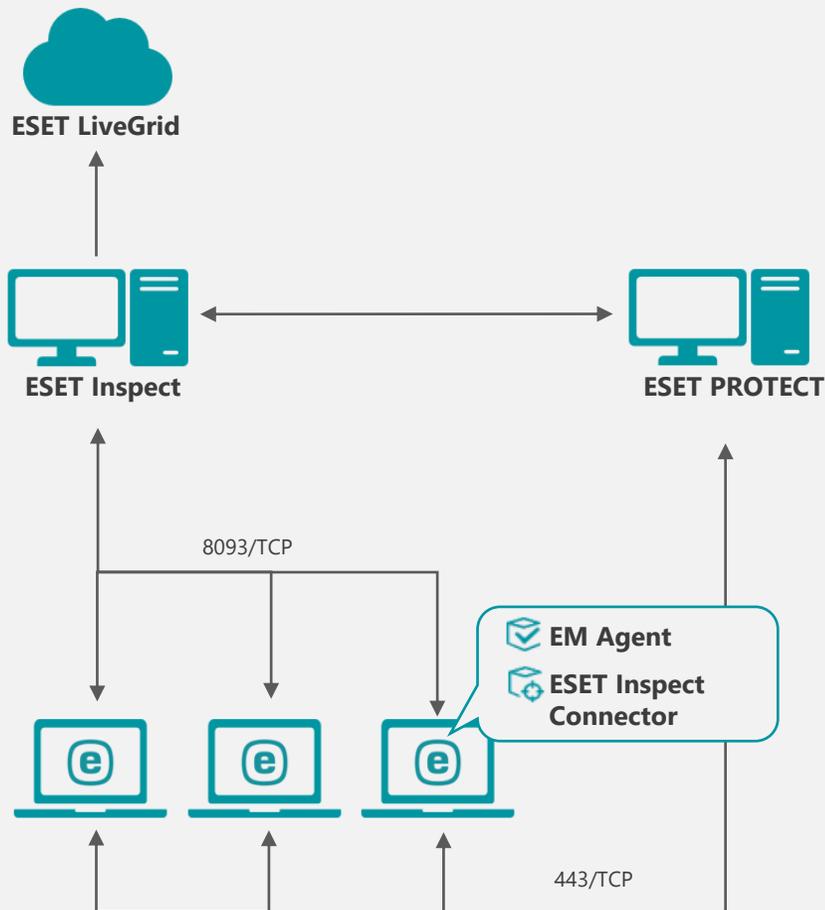
- 本資料は、すでに「ESET PROTECT（クラウド版）」で端末を管理しているお客様向けに、「ESET Inspect（クラウド版）」をご利用いただくために必要な、ESET Inspect Connectorのインストール方法を記載した資料です。
- ESET PROTECTのバージョンアップにより、本資料の記載内容と各サービスに搭載されている機能及び名称が異なる場合があります。また本資料の内容は、将来予告なく変更することがあります。
- ESET Inspectのご利用には、ESET PROTECTで管理している端末のESET製品が最新バージョンである必要があります。
- ESET PROTECT On-Prem（オンプレミス版）で端末を管理しているお客様や、端末にインストールされているESET製品のバージョンが古いお客様向けのFAQも案内しています。

※ [ESET PROTECT（クラウド版）について](#) | [ESETサポート情報](#) | [法人向けサーバー・クライアント用製品](#) | [キヤノンITソリューションズ \(canon-its.jp\)](#)

※ [【ESETクライアント管理クラウド対応オプション向け】ESET PROTECT（クラウド版）移行手順](#) | [ESETサポート情報](#) | [法人向けサーバー・クライアント用製品](#) | [キヤノンITソリューションズ \(canon-its.jp\)](#)

※ [クライアント用プログラムをバージョンアップするには？](#) | [ESETサポート情報](#) | [法人向けサーバー・クライアント用製品](#) | [キヤノンITソリューションズ \(canon-its.jp\)](#)

システム構成イメージ



ESET Inspect (EI)

EIはEI Connectorを使用してエンドポイントデバイスでリアルタイムにデータを収集します。データは一連のEI内のルールと照合され、疑わしいアクティビティが自動的に検出されます。この集約されたデータにより、異常で疑わしいアクティビティをより効率的に検索し、正確なインシデント対応、管理、およびレポートの作成ができます。

ESET PROTECT (EP)

EPはクライアントプログラムの情報収集や設定の変更、インストーラーの作成、タスク配布などを行います。クライアントとの通信はEM Agentを経由して行います。

ESET Inspect Connector (EI Connector)

EI Connectorはクライアントのデータを収集し7分間隔でEIへデータを送信します。また、悪意のあるコンポーネントを削除し、これらのコンポーネントの実行をブロックします。

ESET Managementエージェント (EM Agent)

EM Agentは、クライアントから情報を収集し、10分間隔でEPCへデータを送信します。また、EPからのタスク配布などはEM Agentへ送信されたのち、EM Agentがクライアントへ送信します。

El Connectorのインストール方法

1. E!ログイン

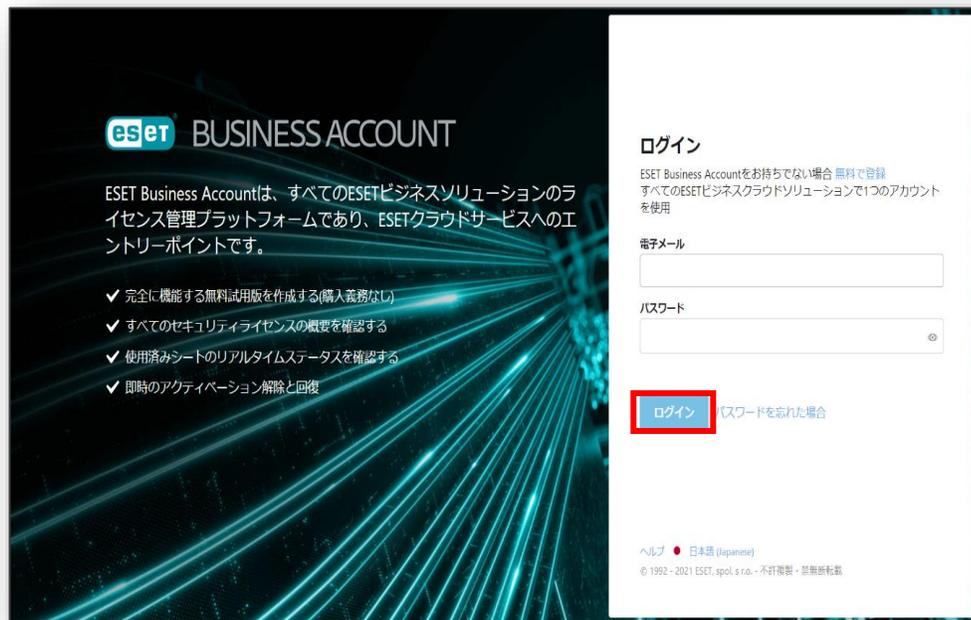
1. ESET Business Accountへのアクセス

1. <https://eba.eset.com/>にアクセスし、ログイン画面でご登録いただいている電子メールアドレス、パスワードを入力し「ログイン」をクリックします。

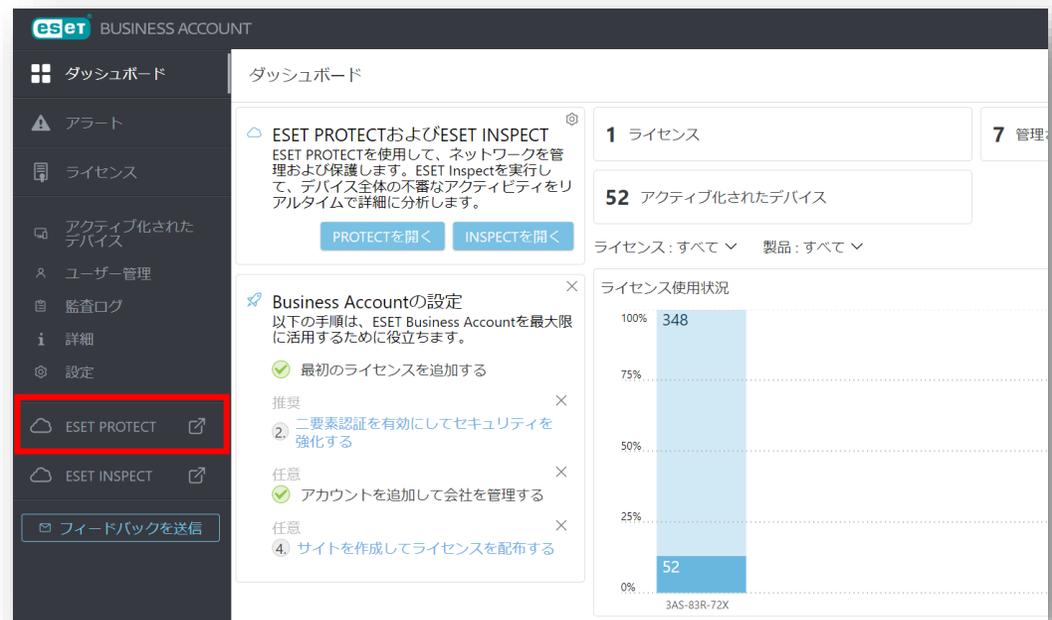
2. ESET PROTECTへのアクセス

1. ESET Business Accountにログイン後、サイドメニューから「ESET PROTECT」をクリックします。

■ EBAログイン画面



■ EBAメイン画面



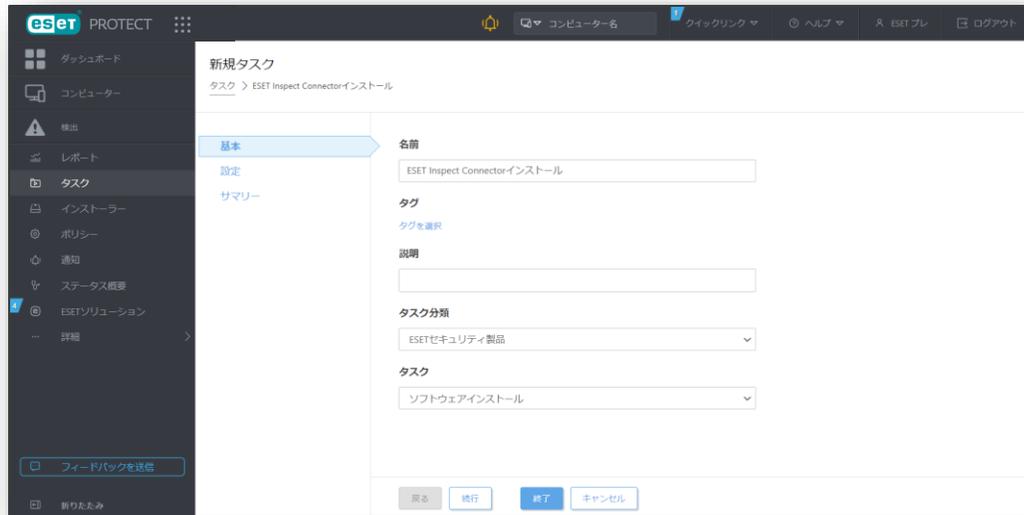
I. El Connectorのインストール方法

2. タスクの作成

3. ソフトウェアインストールタスクの作成

1. EPメインメニュー「タスク」より、「新規作成」 - 「クライアントタスク」をクリックします。
2. 基本画面でタスク分類を「ESETセキュリティ製品」、タスクを「ソフトウェアインストールタスク」を選択します。(名前は任意)
3. 設定画面で「リポジトリからパッケージを選択」から「ESET Inspect Connector」を選択し、ESETライセンスで「ESET Inspect」が選択されていることを確認します。
4. 終了をクリックするとタスクが作成されます。続けてトリガー（※実行タイミングや対象端末）を設定する場合「トリガーの作成」をクリックします。

■ソフトウェアインストールタスク画面



■設定画面

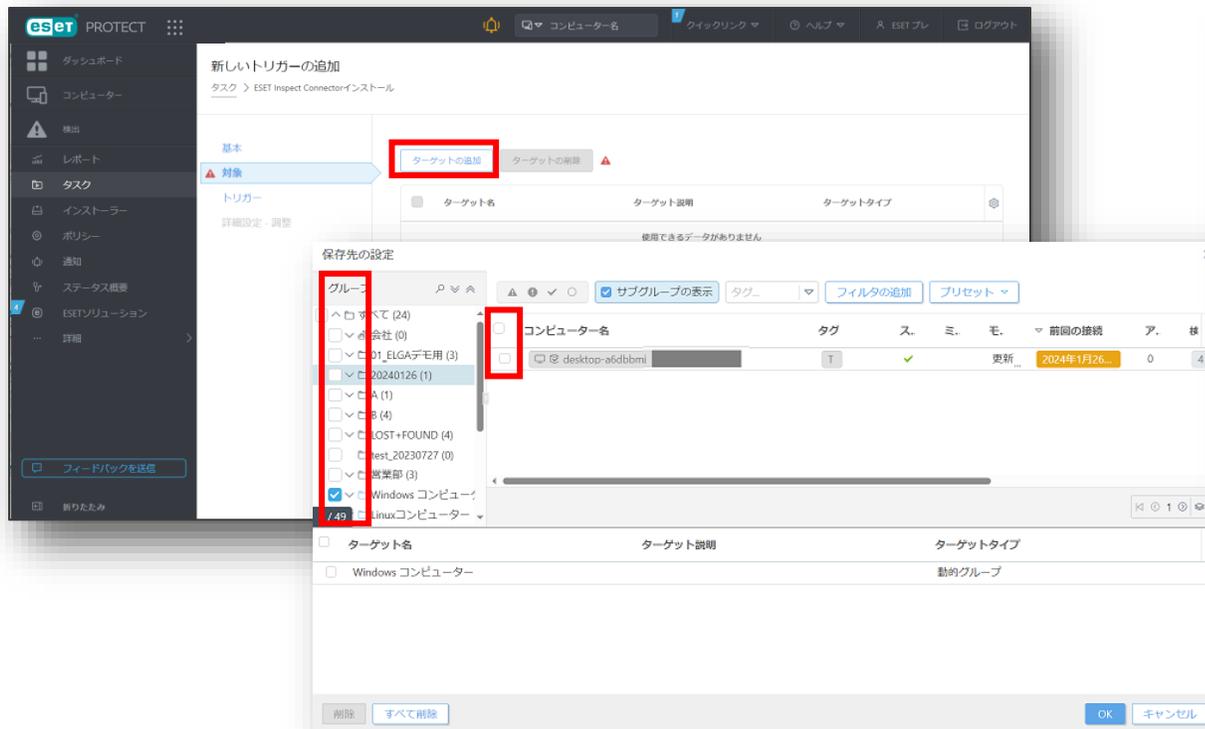


I. El Connectorのインストール方法

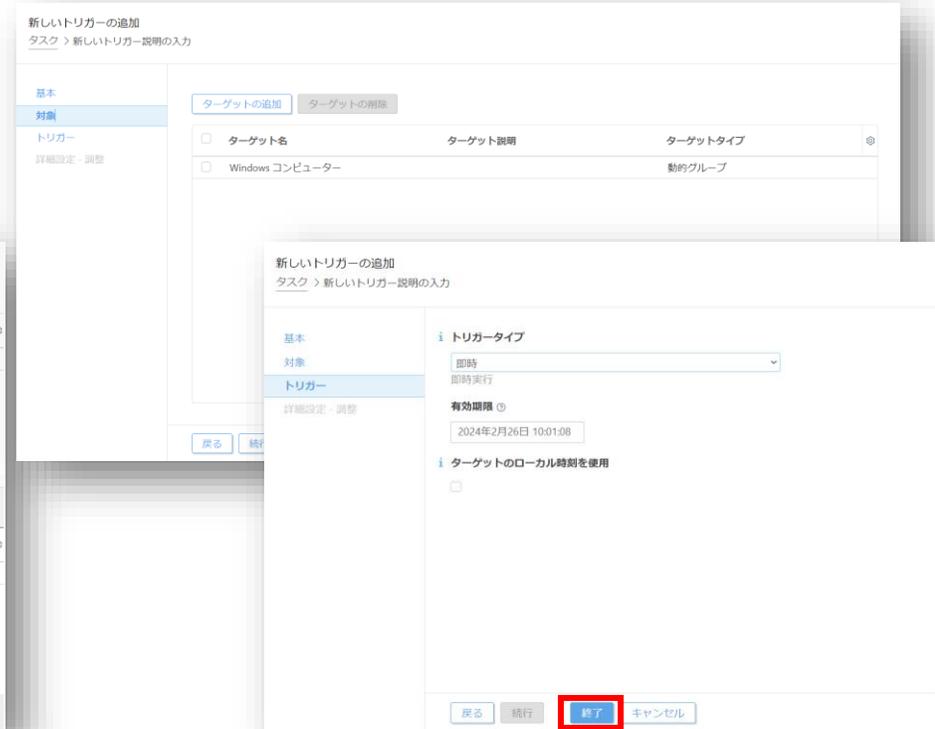
3. トリガー設定

4. El Connectorをインストールするクライアントまたはグループのトリガーを設定
- ※複数のクライアントにタスク実行する場合、ネットワーク負荷がかかる可能性があります。ターゲットとなるグループを分けてタスクを実行するか、トリガータイプにて「スケジュール済み」を選択し、「ランダム遅延間隔」を設定してください。
1. 対象画面で「ターゲットの追加」をクリックします。
 2. El Connectorをインストールするクライアントまたはグループを選択します。
 3. ターゲットを選択後、タスク実行のタイミングであるトリガーを設定し、終了ボタンをクリックします。

■ トリガー画面



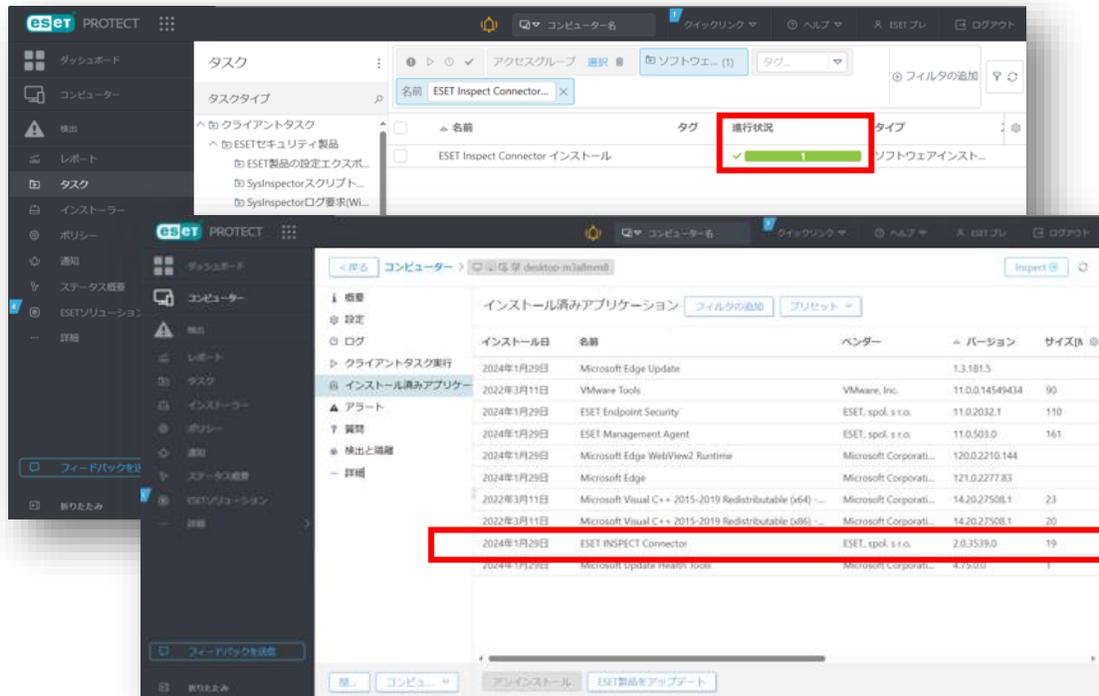
■ トリガー対象設定画面



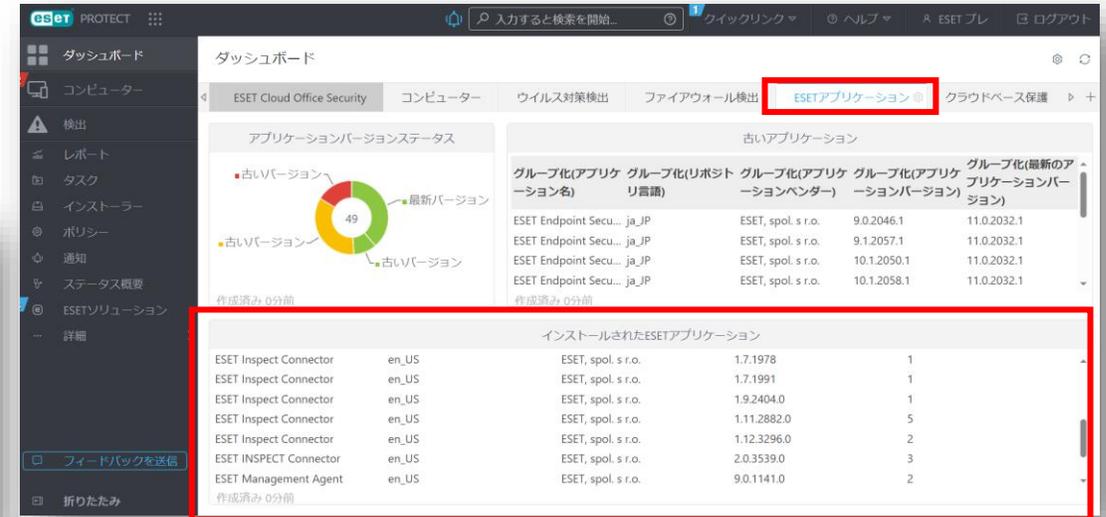
5. タスクの実行結果を確認

1. タスクの進行状況を確認します。進行状況のインジケータが緑色になったら完了です。
また、インジケータ内の数字からタスクが成功した台数の確認が可能です。(タスクの完了には時間がかかる場合があります)
2. EPメインメニュー「コンピューター」より、対象の端末を選択し、「コンピューター」-「詳細」をクリックします。
3. 「インストール済みアプリケーション」から「ESET INSPECT Connector」がインストールされていることを確認します。
※ダッシュボード「ESETアプリケーション」内の「インストールされたESETアプリケーション」からもESET Inspect Connectorのインストール台数が確認可能です。

■ タスク画面



■ ダッシュボード画面



付録：各ESET製品のバージョンアップ方法

バージョンアップが必要なESET製品

● アンチウイルス製品（ESET Endpoint Security / ESET Endpoint アンチウイルスなど）

- アンチウイルス製品によっては、自動でバージョンアップが可能なプログラムもございます。
その場合は、ESET PROTECTからのポリシー設定で対応が可能です。
- ESET PROTECTの「ソフトウェアインストールタスク」を使用して、リモートでバージョンアップさせることも可能です。

● ESET Managementエージェント

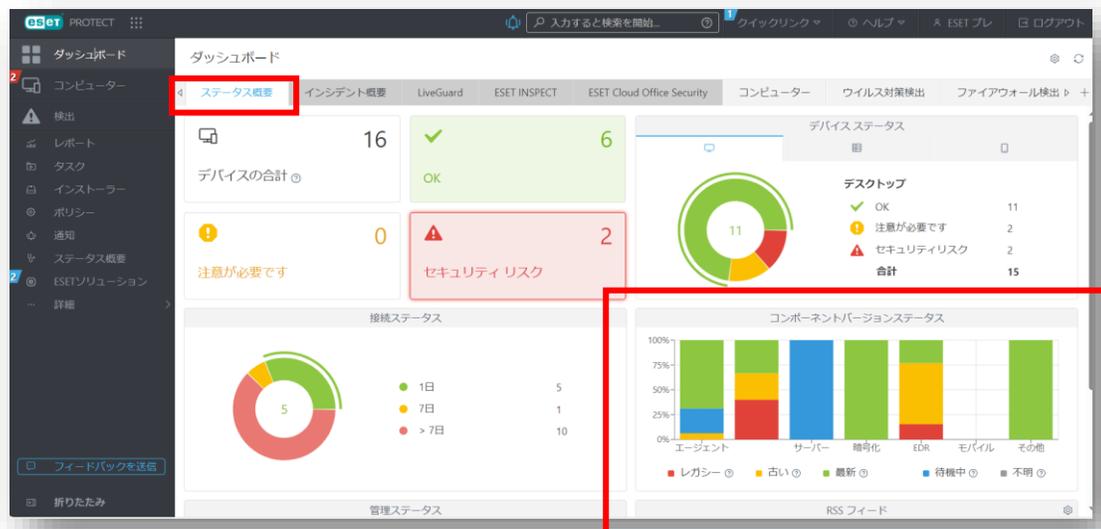
- ESET PROTECT（クラウド版）で管理されている端末にインストールされているESET Managementエージェントは、自動でバージョンアップされます。
- ESET Inspect（クラウド版）の導入時に最新バージョンになっていない場合は、バージョンアップ対応をお願いいたします。

※ プログラムのバージョン確認方法は10ページをご参照ください。

● EPのダッシュボードから確認

1. EPメインメニュー「ダッシュボード」より、「ステータス概要」 - 「コンポーネントバージョンステータス」から対象製品の状態を確認します。
2. また「ESETアプリケーション」から各製品のバージョンを確認します。(古いバージョンがインストールされている場合、「古いアプリケーション」表示されます)

■ ダッシュボード画面[ステータス概要]



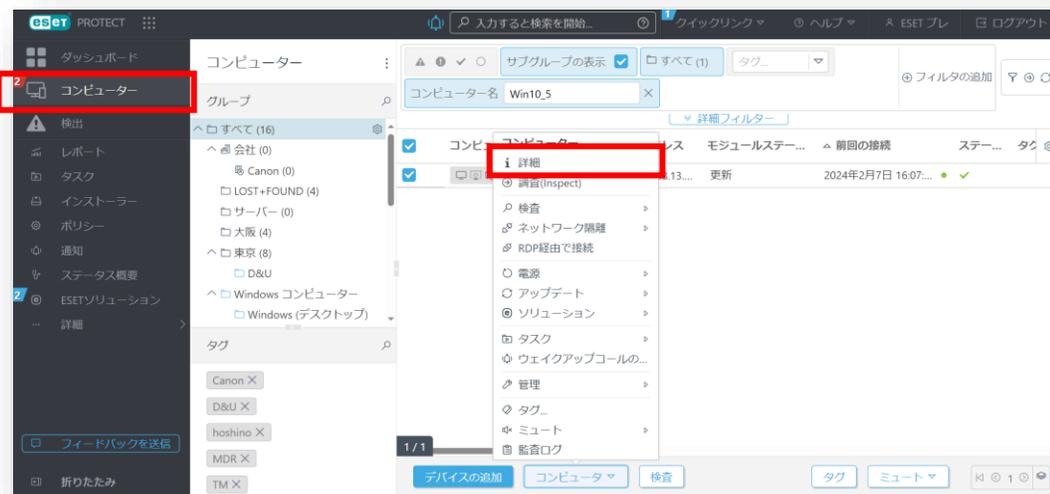
■ ダッシュボード画面[ESETアプリケーション]



● EPから端末毎に製品バージョンの確認する場合

1. EPメインメニュー「コンピューター」より、確認したい端末にチェックを入れ「コンピューター」 - 「詳細」をクリックします。
2. メニューより「インストール済みアプリケーション」をクリックし、バージョン欄から各製品のバージョンを確認します。
(新しいバージョンが存在する場合、最新のアプリケーションバージョン欄に最新バージョンが表示されます)

■ コンピューター画面



■ インストール済みアプリケーション画面



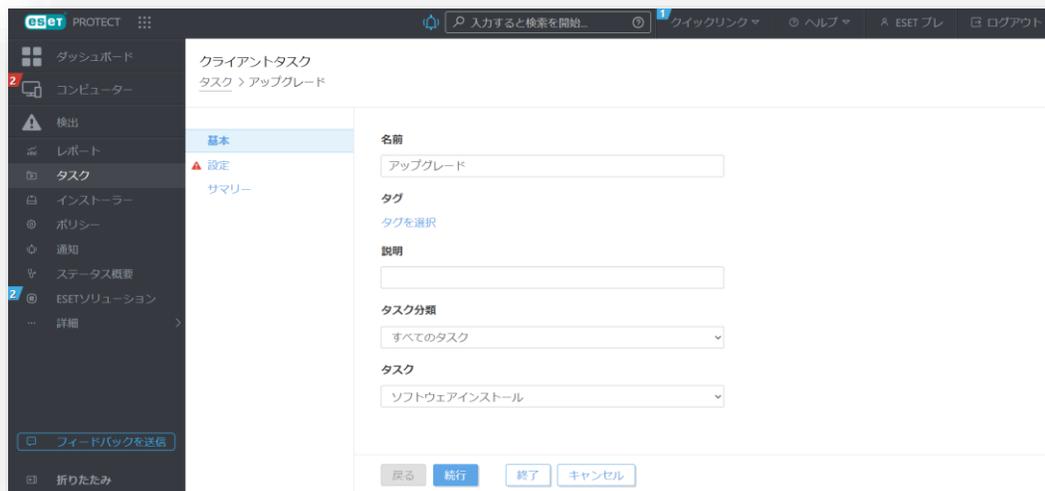
● ソフトウェアインストールタスクの作成

※複数のクライアントにタスク実行する場合、ネットワーク負荷がかかる可能性があります。

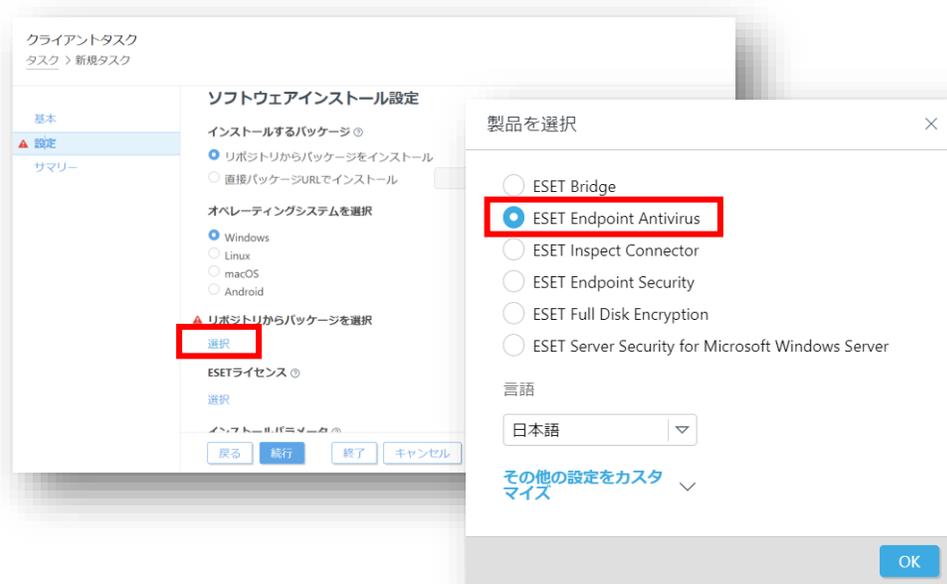
1. EPメインメニュー「タスク」より、「新規作成」-「クライアントタスク」をクリックします。
2. 基本画面でタスク分類を「ESET PROTECT」、タスクを「ソフトウェアインストールタスク」を選択します。(名前は任意)
3. 設定画面で対象のオペレーティングシステムを選択、「リポジトリからパッケージを選択」から対象のアンチウイルス製品を選択し、ESETライセンスで「ESET Endpoint ~」が選択されていることを確認します。(画像ではESET Endpoint アンチウイルスを選択しています)
4. 終了をクリックするとタスクが作成されます。続けてトリガーを設定する場合「トリガーの作成」をクリックします。(トリガー設定は6ページ参照)

※製品バージョンアップ後は再起動が必要です。

■ ソフトウェアインストールタスク画面



■ 設定画面

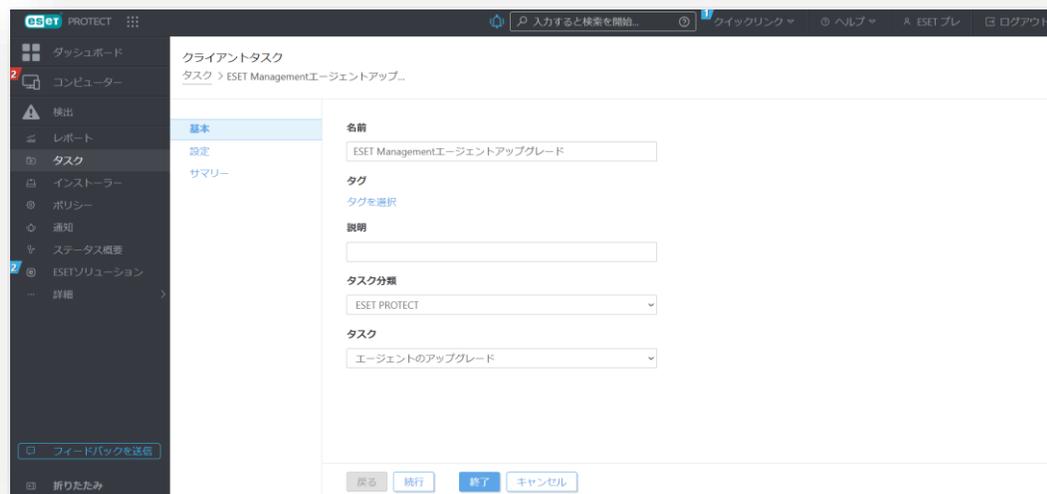


● ソフトウェアインストールタスクの作成

※複数のクライアントにタスク実行する場合、ネットワーク負荷がかかる可能性があります。

1. EPメインメニュー「タスク」より、「新規作成」-「クライアントタスク」をクリックします。
2. 基本画面でタスク分類を「ESET PROTECT」、タスクを「エージェントのアップグレード」を選択します。(名前は任意)
3. 設定画面で「エンドユーザーライセンス契約に同意し、プライバシーポリシーを承諾します。」および「必要なときに自動的に再起動」にチェックします。
4. 終了をクリックするとタスクが作成されます。続けてトリガーを設定する場合「トリガーの作成」をクリックします。(トリガー設定は6ページ参照)

■ ソフトウェアインストールタスク画面



■ 設定画面

